

調査期間 2018年8月1日～2019年3月29日
所在地 鎌倉市関谷
時代 近世、中世、古墳、弥生、縄文
旧石器
調査原因 国土交通省関東地方整備局による
一般国道468号（横浜湘南道路）
建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 JR大船駅の北西約2.7kmに位置する
関谷川左岸の相模野台地東南端の台
地上



主な調査成果

今回の調査では縄文時代の早期前葉及び前期末葉の集落の一端が明らかになるとともに、旧石器時代の遺物を発見することができました。特に、縄文時代前期末葉で県内初となる北海道日高産緑色岩（通称アオトラ石）製磨製石斧や、旧石器時代で玉縄城跡に次いで鎌倉市内2例目の正式な発掘調査による石器の発見は、極めて重要な成果となりました。

また、本遺跡において縄文時代早期前葉と前期末葉の住居、前期末葉で上記の磨製石斧や装身具の垂飾品を伴う墓の可能性のある土坑、早期前葉の落とし穴が発見されたことにより、早期前葉では狩猟場から居住域、前期末葉では居住域から墓域へと土地利用の変遷する様子がうかがえました。



1. J2号住居 土器（十三菩提式）出土状況



2. J4号住居遺物出土状況



3. J11 号土坑



4. 縄文時代前期遺物出土状況
(十三菩提式土器・スタンプ状石器等)



5. J3・4号住居 土坑



6. J10号集石



7. J1号住居石製品(垂飾)出土状況



8. L1H層下位 石器出土状況



9. J1号住居 磨製石斧出土状況



10. J1号住居 遺物出土状況



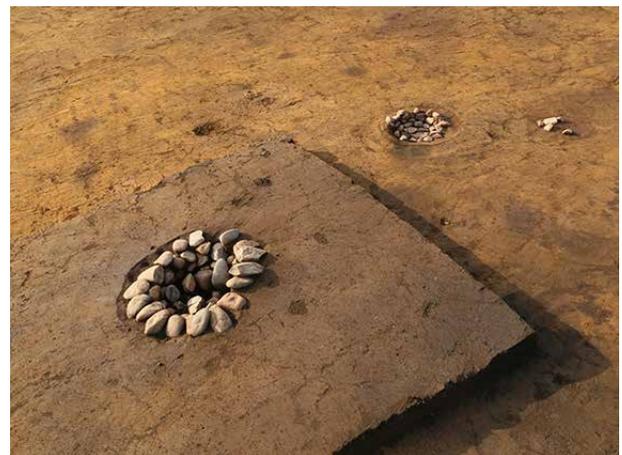
11. J1・2号住居



12. J1号住居



13. J3号住居



14. J7・8・9号集石



15. J4号住居



16. 東正院遺跡 遠景（北から）